

株式会社 群馬銀行

2023年3月期 第1四半期

# スモールミーティング

2022年8月3日 常務取締役 内堀 剛夫



(東証プライム : 8334)

～私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます～

2022年 中期経営計画  
Innovation for “Purpose”



## ● ポイント

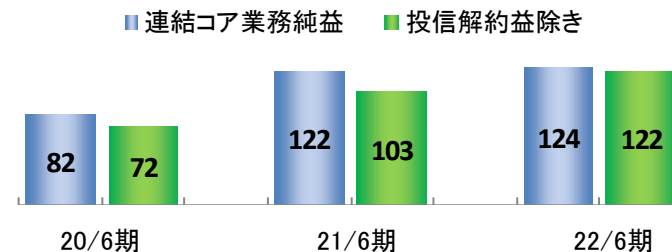
- ✓ 連結コア業務純益は**順調に進捗**。投信解約益の剥落による資金利益の減少を非金利業務利益の増加と経費削減でカバーし、上期計画進捗率63%の124億円。投信解約益除きの連結コア業務純益は前年同期比+18億円の122億円。
- ✓ 貸出金は住宅ローン、クロスボーダー・ストラクチャードファイナンス、大企業が**堅調**。
- ✓ 中小企業貸出の新規実行金利は**上昇に転じる**。
- ✓ 非金利業務利益は前年同期比約6億円増加の64億円、上期計画進捗率56%。法人役務は、為替動向を捉えて**デリバティブに注力**。
- ✓ 米国金利上昇に伴うジニーメイ債の評価損銘柄の入替により、ポートフォリオの**健全化を実施**。ユーロ建て固定債の入替も適宜進める。
- ✓ 与信費用は7億円と上期**計画に対し抑制**。足元の状況は落ち着いている。

# 1.業績概要

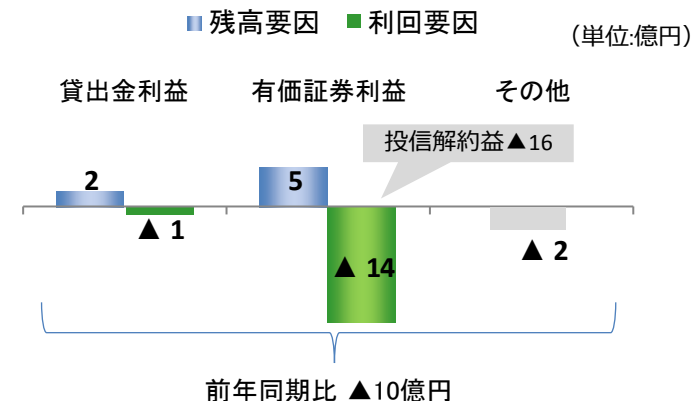
連結	第1Q 22/6期			上期計画 22/9期	年間計画 23/3期
	(単位:億円、%)	前年同期比	上期計画進捗率		
コア業務粗利益	260	▲ 4	55.6	468	912
資金利益	196	▲ 10	55.2	355	699
非金利業務利益	64	5	56.8	113	213
経費	136	▲ 6	49.9	273	539
コア業務純益	124	1	63.6	195	373
投信解約損益除き	122	18	63.2	193	371
経常利益	119	▲ 51	62.8	190	390
当期純利益	86	▲ 28	66.2	130	270

単体	第1Q 22/6期			上期計画 22/9期	年間計画 23/3期
	(単位:億円、%)	前年同期比	上期計画進捗率		
コア業務粗利益	243	▲ 2	56.3	432	838
資金利益	196	▲ 10	55.1	356	701
うち投信解約損益	2	▲ 16	100.0	2	2
非金利業務利益	46	8	61.6	75	137
経費	131	▲ 6	50.0	262	518
コア業務純益	112	4	66.1	170	320
投信解約損益除き	110	21	65.7	168	318
有価証券関係損益	0	▲ 54	0.5	29	64
与信費用	7	3	25.6	28	50
その他	1	1	-	▲ 0	11
うち退職給付費用	▲ 1	▲ 2	50.0	▲ 3	▲ 7
経常利益	106	▲ 52	62.7	170	345
法人税等	27	▲ 15	54.9	50	104
当期純利益	77	▲ 29	67.5	115	235

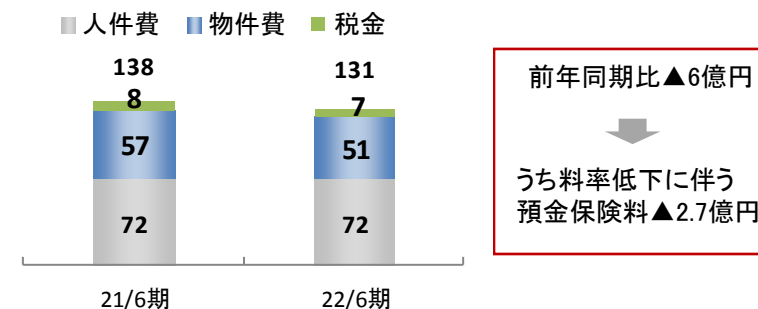
## コア業務純益の推移 (単位:億円)



## 資金利益の増減要因 (単体)



## 経費の増減要因 (単体)



# 2.貸出金の状況

## 預金等の内訳

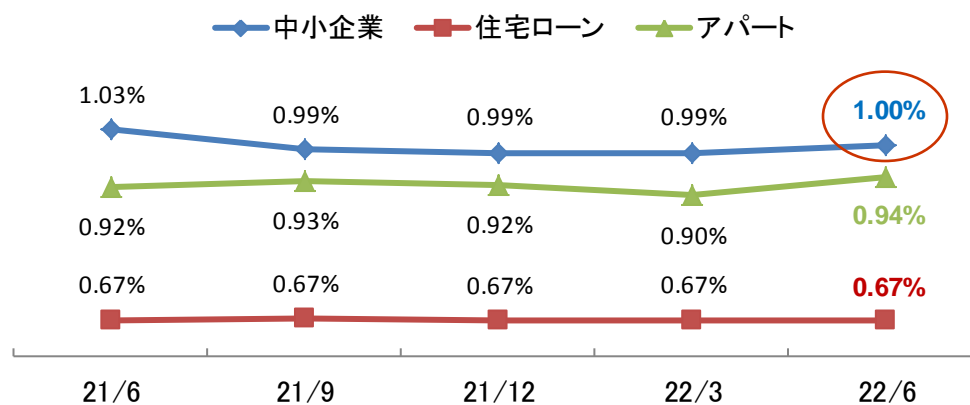
	(単位:億円、%)		
	22/6末	前期比	増減率
預金等	82,527	433	0.5
預金	79,697	▲ 6	▲ 0.0
うち個人預金	55,905	663	1.2
うち法人預金	19,358	318	1.6
譲渡性預金	2,829	439	18.3

## 貸出金の内訳

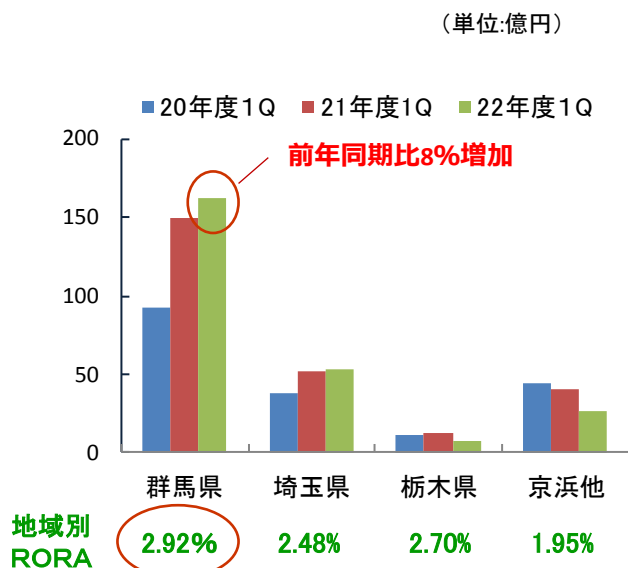
	(単位:億円、%)		
	22/6末	前期比	増減率
貸出金	58,271	89	0.1
リテール	46,272	▲ 229	▲ 0.4
中小企業	22,861	▲ 270	▲ 1.1
個人	23,411	40	0.1
うち住宅ローン	13,598	43	0.3
うちアパートローン	6,501	1	0.0
うち無担保ローン	583	10	1.7
その他	10,184	252	2.5
クロスボーダー	969	112	13.1
ストラクチャードファイナンス	364	64	21.4
国内大・中堅企業	7,658	83	1.0
その他(*)	1,192	▲ 7	▲ 0.5
海外店	646	43	7.2
公共	1,167	23	2.0

※ 地方公社、東京・大阪支店勘定はその他(\*)に区分。

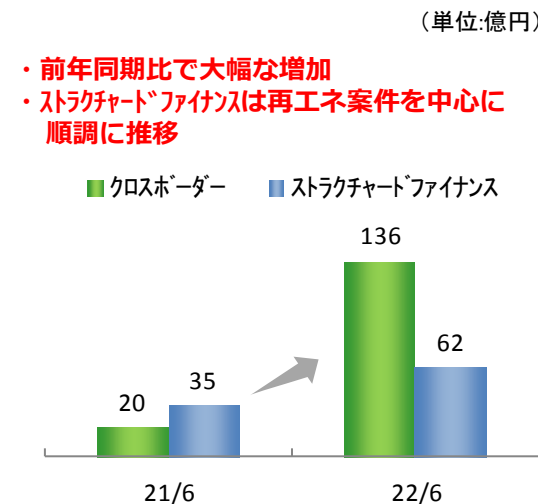
## 新規実行金利の推移



## 地域別住宅ローン実行額



## クロスボーダー/ストラクチャードファイナンス実行額



- ・ 前年同期比で大幅な増加
- ・ ストラクチャードファイナンスは再エネ案件を中心に順調に推移

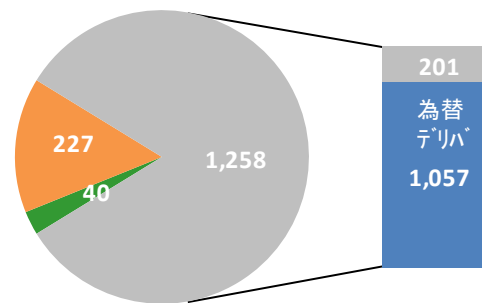
# 3.非金利業務利益の状況

## 連結非金利業務利益

(単位:億円)	第1Q 22/6期			上期計画 22/9期
	前年 同期比	上期計画 進捗率		
連結非金利業務利益	64.2	5.9	56.7%	113.1
法人役務収入	15.2	8.8	63.7%	23.9
シンジケートローン	0.8	▲ 0.5	33.2%	2.6
ストラクチャー付コベナンツ融資	0.7	0.3	21.8%	3.2
ビジネスマッチング	0.8	0.0	31.5%	2.8
金融商品仲介 (ぐんぎん証券含)	0.5	▲ 0.1	26.2%	2.0
M&A	0.1	▲ 0.4	4.0%	3.1
私募債	0.1	▲ 0.0	13.1%	1.1
デリバティブ (金利・為替)	10.7	9.0	203.2%	5.3
その他	1.1	0.5	32.9%	3.5
預かり金融資産等収入	16.6	▲ 3.4	42.8%	38.8
投信取扱手数料	4.8	▲ 1.8	32.5%	15.0
保険販売手数料 (個人)	4.8	1.1	72.2%	6.7
ぐんぎん証券 (個人向け)	6.3	▲ 2.9	39.2%	16.1
遺言信託・遺産整理手数料他	0.5	0.2	56.7%	0.9
その他	32.3	0.5	64.2%	50.3
団信配当金	16.4	2.7	91.5%	17.9
基盤役務 (内国為替、代理事務等)	19.9	▲ 1.4	51.0%	39.1
ローン保証料等	▲ 15.8	▲ 0.8	50.3%	▲ 31.4
ぐんぎんリース	6.5	0.2	55.7%	11.7
群馬信用保証	4.0	▲ 0.2	47.4%	8.4
その他、連結調整	1.1	0.0	25.8%	4.3

## 法人役務収入 (支援別内訳)

- 事業承継支援
- 金融支援
- 本業支援
- うち為替デリバティブ



円安の影響による輸入企業の為替リスクの高まりを受け推進強化。

## 預かり金融資産 (当行+ぐんぎん証券)

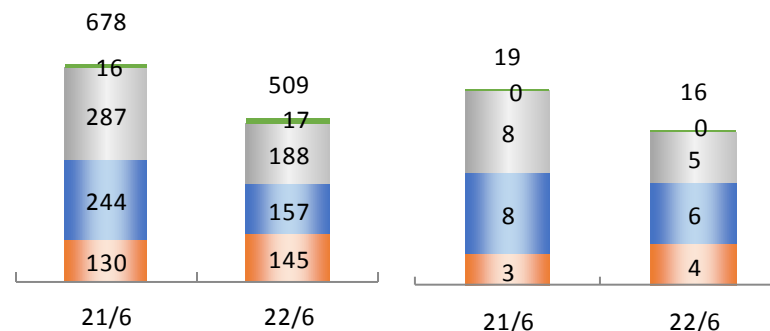
### 販売額

### 手数料

(単位:億円)

- 生保
- 投信
- 債券
- 株式

- 生保
- 投信
- 債券
- 株式

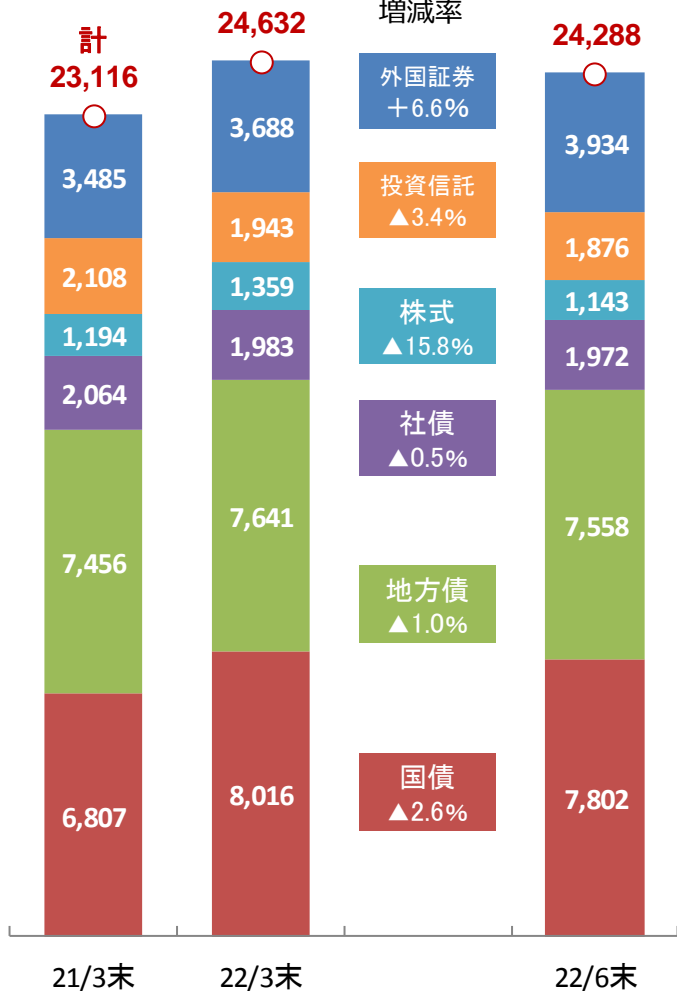


# 4. 有価証券の状況

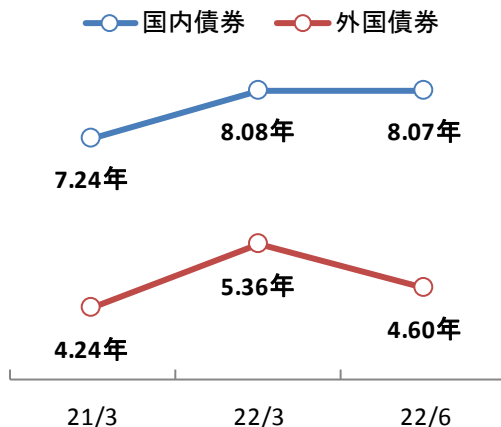
## 有価証券残高（簿価ベース）

（単位：億円）

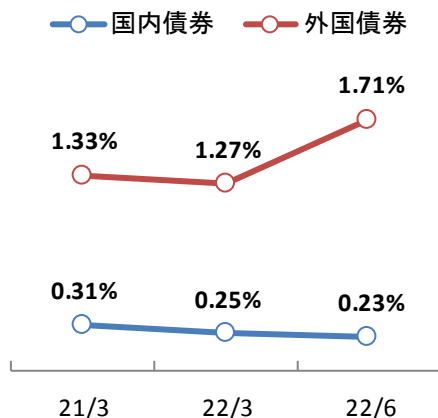
前期比  
増減率



## デュレーション



## 債券利回り



## 関係損益 （満期保有を除く）

（単位：億円）

	21/6期	22/6期	前年同期比
有価証券関係損益①	54	0	▲54
債券関係損益	8	▲89	▲97
株式等関係損益	46	89	43
株式等売却損益	46	90	44
政策投資	20	-	▲20
純投資	25	90	65
株式等償却(▲)	0	1	1
投信解約損益②	18	2	▲16
合計(①+②)	73	3	▲69

## 評価損益

（単位：億円）

	22/3期	22/6期	前期末比
有価証券評価損益	457	67	▲390
国内債除き評価損益	595	346	▲249
外国証券	▲83	▲171	▲88
うち米ドル固定債	▲75	▲65	10
うちユーロ固定債	▲50	▲124	▲74
投資信託他	2	▲92	▲94
株式	677	610	▲66
政策投資	595	619	23
純投資	81	▲8	▲89
債券	▲138	▲278	▲140
国債	▲131	▲244	▲112
地方債	0	▲19	▲20
社債	▲6	▲15	▲8

# 5.与信費用の状況

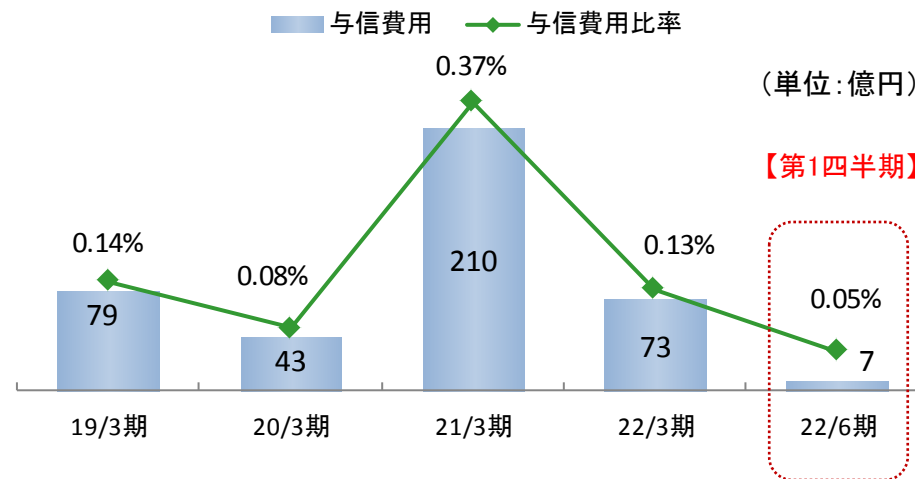
## 与信費用の内訳

(単位:億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	23/3期 1Q	前年 同期比
与信費用	54	3	7	3
一般貸倒引当金純繰入額	44	▲ 3	▲ 2	1
実積率変動	-	-	-	-
DCF	33	▲ 3	▲ 2	0
その他	10	▲ 0	0	0
不良債権処理額	9	7	9	2
ランクダウン	12	19	14	▲ 5
回収・ランクアップ等	▲ 3	▲ 13	▲ 5	8
その他	0	1	0	▲ 0
償却債権取立益(▲)	0	1	0	▲ 0

## 与信費用及び与信費用比率の推移

⇒ 与信費用の見通しは上期28億円、年間50億円。



## 債務者区分別の引当率

(単位:%)

			引当対象	期間	20/3期	21/3期	22/3期	22/6期
正常先			債権全額	1年	0.071	0.068	0.066	同左
その他 要留意先	実抜計画先 でない先	区分1	"	3年	0.957	0.941	0.911	
	実抜計画先	区分2	"	3年	6.271	5.764	5.574	
要管理先								
破綻懸念先Ⅲ分類			非保全額	3年	32.950	28.736	28.459	

## コロナの影響 (四半期ベース)

(単位:億円)

		22/3期				23/3期
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
コロナ影響額	計	10	25	8	45	2
	一般貸倒引当金 繰入額	3	12	3	1	2
	不良債権処理額	6	13	5	44	0

# (ご参考) 中期経営計画の進捗状況

- パーパスの実現につながる3年間の主要計数として「つなぐKPI」を設定。

つなぐKPI	中計目標	当期計画	実績 (四半期)	年間 進捗率
貸し手と借り手を「つなぐ」				
①サステナブルファイナンス実行額	5,000億円	1,328億円	330億円	24.8%
②住宅ローン実行額	4,000億円	1,300億円	253億円	19.5%
③無担保消費者ローン残高	750億円 〔22/3末比〕 〔+176億円〕	640億円 〔22/3末比〕 〔+66億円〕	584億円 〔22/3末比〕 〔+10億円〕	〔15.1%〕
お客さまを「つなぐ」				
④ビジネスマッチング成約件数	3,000件	900件	216件	24.0%
企業と人を「つなぐ」				
⑤人材紹介成約件数	200件	45件	14件	31.1%
お客さまの未来に資産を「つなぐ」				
⑥連結預かり金融資産残高	12,500億円 〔22/3末比〕 〔+2,434億円〕	10,780億円 〔22/3末比〕 〔+714億円〕	10,118億円 〔22/3末比〕 〔+53億円〕	〔7.4%〕
⑦うち投資信託残高	4,000億円 〔22/3末比〕 〔+987億円〕	3,430億円 〔22/3末比〕 〔+417億円〕	2,866億円 〔22/3末比〕 〔▲146億円〕	〔▲35.0%〕
次世代へ「つなぐ」				
⑧事業承継課題解決件数	600件	200件	47件	23.5%
⑨相続関連業務成約件数	1,000件	270件	46件	17.0%

※中計目標のうち①、②、④、⑤、⑧、⑨は累計値。  
年間進捗率のうち残高項目(③、⑥、⑦)は22年3月末比増加目標に対する進捗状況を記載。

戦略テーマ関連計数	目標値	実績
営業		
電子契約サービス利用率(一般貸出)	100%	51.6%
電子契約サービス利用率(ローン)	100%	97.3%
チャンネル		
アプリ利用者数(口座登録者数)	30万人	5.2万人
人材		
ITパスポート取得者数	1,000人	139人
外部連携		
TSUBASAアライアンスの収益効果	45億円	28億円
地域		
包括連携協定締結先への提案件数	20件	0件
個人		
積立投資信託契約月額	25億円	14億円
グループ総合力		
キャッシュレス加盟店数	16,000店	13,016店
キャッシュレス取扱高(年間)	2,000億円	393億円

※目標値は中計終了までの累積値。  
ただしキャッシュレス取扱高は単年度(2024年度)。



本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社群馬銀行 総合企画部(IR担当)

TEL 027-254-7055、7051、7053

